

# 県西圏域十ビだより



今年は今までにない台風被害を耳にします。もしこの地域で災害がおきたら、もしこの地域で避難しなくてはならない状況になったら、もしこの地域で…。その時は、必ずネットワークが力になれるよう、日頃の連携にさらに磨きをかけておきたいと思います。

## 活動報告

### 第1回県西障害保健福祉圏域障害者自立支援協議会が開催されました

5月、第1回県西障害保健福祉圏域障害者自立支援協議会が開催されました。

今年度より、新たに精神・知的の障害当事者と県西地域の2市8町の福祉主管課長が構成委員になりました。協議会では、当事者の方々より

- ・企業内に障がい者からの相談を専門に受ける‘グリーンスタッフ’を配置してほしい
- ・協議会の課題やその対応について共有したい
- ・障害サービスは必要なところに行き届いているか

等のご意見やご提案を頂き、今後、さらに活発な意見交換の場となることが期待できる協議会でした。



### 研修会「教育と福祉のつながりを考える～子どもたちの未来のために～」開催

8月1日、サービス提供ネットワーク主催の研修会を開催。

85名の参加がありました。

長野県自立支援協議会会長・日本相談支援専門員協会顧問 福岡寿氏より「教育と福祉のつながり」と題して基調講演をいただいた後、多職種で構成したグループ毎に「現状と課題について」「教育と福祉が連携する為に今後欲しいもの」をテーマに意見交換しました。



最終ゴールは、一人一人に支援チームを作り定期的にその子どもを真ん中に支援会議を続けていくことですね

### 福岡氏よりメッセージをいただきました

話し合いのグループごとにいろいろ特色があって、和気あいあいと話し合っているグループもあれば、静かだけど頭を寄せ合っているグループもあって、進行役を任せられましたが、グループ討議を切り上げるのが忍びなくて、でも時間の制約もあるしと、逡巡しながら、その場にいたのを思い出します。

近そうで遠いのが教育と福祉ですが、立場は違えど子どもを何とかしたいという思いがクロスする中で、これなら何とかやっていけるという感触をつかめる時があるものです。

あの日のグループ討議はそんな手ごたえを参加者の方がつかんで下さった日のように思います。校長先生も何人か参加していただき、驚きました。全国あちこち行きますが、そういったことはあまりないので。

福祉と教育の連携、これを私は、「weコラボ」と呼んでいます。お見合いからデート、そして、できれば新しい仕組みを生み出してくれるところまで進化していただきますよう、皆様のご活躍を期待しています。

### 小田原養護学校 連携部長 中村先生

今回の研修で福岡さんのお話をうかがい、いろいろな機関の方と直接お話をさせていただくことで、各機関で取り組まれていることについて知ることができ、大変勉強になりました。福岡さんのお話の「縦のつながり、横のつながり」については、教育と福祉の連携の必要性をあらためて考える機会となりました。「出会いの場」として、この研修会はとても意義深かったと思います。さらにこの「出会い」を深めていくために、新しく何かを始めることも必要になるかと思いますが、各機関で今まで取り組まれていることや、協議会等の場をうまくいかしながら、ご本人を支える仕組みづくりを、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

### こどもホッと相談カフェ 所長 大水さま

小田原市と足柄下郡の3町が合同設置する地域自立支援協議会のこども部会でも、今年2月に福岡先生をお呼びし、この地域の子供たちの発達支援に関わる方々とともに、この地域のあるべき姿を考え共有するために研修会を行いました。

研修では、それぞれの支援者が一生懸命子供たちのために働いていますが、バラバラに活動するだけでは、最終的には本人や家族が迷ってしまうことを指摘され、一人ひとりのお子さんご家族に、福祉関係者だけではなく、保健、教育や医療機関との連携をしながら丁寧に対応していくことが不可欠であることを学びました。

このことを実現するための道筋は簡単ではないですが、今回、県西圏域というさらに大きな枠組みでもう一歩進めていただき本当に感謝です。参加された多くの方々とともに更につぎの一歩に向けて地域自立支援協議会のこども部会としても進めていきたいと思っています。

### 岩原小学校教育相談]ディレクター 和田先生

前半の福岡先生の熱い講義や大友先生の「まい♡らいふブック」の説明、それを使っていらっしゃる保護者のお話を伺い、「学校は、その子の人生の通過点」「その瞬間を大切に支援していきたい」と思いました。

また、後半のグループワークでは、様々な職種の方と協議でき、お互いに一人の子どもについて、今この時に同じめあてを持って支援していくことの大切さを感じました。それには、「互いに連携しあうこと」＝「信頼し、その子について語り合える関係」を心がけたいと思いました。

その子にとって、学校は1つの通過点ですが、放課後デイなどの方々と横の連携をとることや、その子の今までのあしあと、これから先どのようにすべきなのかなど、縦のつながりを大切にすることで、自立と幸せに近づくと感じました。



#### 研修後記 (事務局)

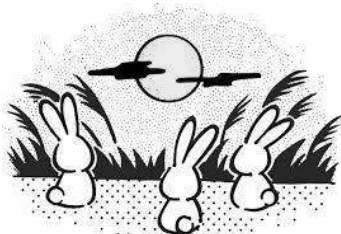
研修会終了後、教職員の方々から予想以上の反響がありました。

これを機にこの地域も教育と福祉の「weコラボ」を目指していけると良いですね。

### ～ まい♡らいふブック Now ～

圏域ナビでは今年度より、まい♡らいふブックワーキンググループを立ち上げ、ブックの普及とより使いやすい内容の充実に努めます。

8月1日の「教育と福祉のつながりを考える」では、ワーキンググループリーダーの大友氏よりまい♡らいふブックの紹介を行い、参加の方々より「まい♡らいふブックを利用することで支援現場の連携が強化されると思う」など貴重な感想をいただきました。



### 発行元

発行責任者 露木とし

県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター

相談支援センターエール

〒250-0865 小田原市蓮正寺 869-3

TEL : 0465-46-8368

FAX : 0465-46-8369

Mail : [yell@takenokogakuen.jp](mailto:yell@takenokogakuen.jp)

法人ホームページ : <http://myoujoukai.org>

